

北海道の森から始めるカーボン・オフセット～「キキタの森」間伐促進プロジェクト

「キキタの森」間伐促進プロジェクト

道では、道民共通の財産である道有林61万ヘクタールにおいて、CO₂の吸収源となる森林を適切に整備・管理しています。

間伐により吸収したCO₂は、国が運営するJ-クレジット制度によりクレジット化しており、企業の皆様のオフセット活動にご利用いただけます。



羊蹄山



旭岳(大雪山)

道有林にある羊蹄山及び旭岳周辺のトドマツ等の人工林約245ヘクタールを間伐して、新たに吸収する二酸化炭素4,362トンクレジット化する取組

カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、地球温暖化対策を推進するため、自らのCO₂の排出量を知り、その排出量を減らす努力をした上で、どうしても減らせないCO₂について他の場所で削減・吸収したもので埋め合わせる取組です。

カーボン・オフセットの仕組み



オフセット・クレジットの活用事例

区分	内容	事例
商品使用・サービス利用オフセット	商品を製造・使用・廃棄する際に排出するCO ₂ をオフセット	ソフトクリームの生産過程で排出するCO ₂ をオフセットし、CO ₂ 排出ゼロ商品として販売
自己活動オフセット	自らの活動により排出するCO ₂ をオフセット	企業のCSR活動の一環として社用車の運行により排出するCO ₂ をオフセット
自己活動支援オフセット	商品・サービスを通じて購入者(消費者)が排出するCO ₂ をオフセット	居酒屋チェーンが提供する一品メニューの注文者が日常生活で排出するCO ₂ をオフセット
		ビール等の飲料の購入者が日常生活で排出するCO ₂ をオフセットする商品を販売

オフセット・クレジットの販売

販売価格：11,000円/t-CO₂(税込み価格)

2トン以上購入時は、道と同様の取組を行う下記の市町村が保有するクレジットとのセット購入となります。

【森林吸収系のクレジットを保有する市町村】

北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会(足寄町・下川町・滝上町・美幌町)・紋別市・標津町・広尾町・士幌町・津別町・上士幌町・南富良野町・石狩市・浦河町・中標津町

ほっかいどう企業の森林づくり

北海道では、企業等の環境意識の高まりなどを踏まえ、道民と企業等とが連携した森林づくりを進め、森林の持つ多様な役割を高めていくことが重要であると考えています。

このため、道では、「ほっかいどう企業の森林づくり」を平成19年度にスタートさせ、道内民有林の整備を希望する企業・団体と、企業等との協働により森林づくりを希望するフィールド(市町村有林等)を募集し、森林整備に関する協定締結に向けた調整など、企業等と森林所有者の橋渡しに取り組んでいます。

■「ほっかいどう企業の森林づくり」のイメージ

